

部局名	産業活力部	所属名	農業研修センター	所属長名	山本 良一	電 話	450-4645
-----	-------	-----	----------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3271		事務事業名称	農業研修センター運営事業					短縮コード	経常	3271	臨時	3602
予算区分	会計	01	一般会計	款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	07	農業センター費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市農業研修センターの設置及び管理に関する条例・八千代市農業ボランティア養成講座実施要綱							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
当施設は、昭和59年4月に農業に関わる各種研修会等の開催や農家と都市住民の交流促進などを通じ農業振興を図ることを目的に開設された。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	05	産業活力都市をめざして						
農家、農業従事者の減少は今後も続くと推測され、それに伴い農家等の施設利用も減少すると考えられる。しかし都市住民の農業や食に対する関心は高く、各種研修会等の参加希望は今後も増加していくものと思われる。					大項目（節）	01	農業						
					中 項 目	01	農業						
					小項目（施策）	02	農業経営体の育成						
						06	市民とふれあう農業の推進						
					細 項 目	03	後継者の育成						
						02	市民と農家との交流						
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		平成20年4月 ～ 平成22年3月		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	研修センター及び利用者：① 農業従事者、農業関係団体、農業後継者。② 農業に関心を寄せる市民（各種研修会等参加者及び農業ボランティア養成講座受講生等）。③ 利用許可をうけた市民							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： ・施設利用申請許可・農業ボランティア養成講座の開催、認証・認証農業ボランティアと受け入れ農家間の調整・各種研修会（地域農産物加工教室、地域農産物活用マイスター講座等） ・第3回農業とくらしのシンポジウムの開催。							
	※平成21年度に計画していること： 農業ボランティア養成講座，農業とくらしのシンポジウムは引き続き開催予定。各種研修会の中では「地域農産物加工教室」，昨年度より一歩進んだ形の加工技術の高度化を目指して「地域農産物活用マイスター講座」，生産者と消費者のあり方を考える「生消連携を進める会」を開催予定。							
意図 （何を狙っているのか）	・農業経営の向上及び農村地域の担い手育成と，地域資源を活用した生産者と消費者の交流促進による都市農業の振興。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	19年度	20年度		21年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	研修センター利用者数	人	10,728	11,000	11,386	11,000	
	指標 2	市内の受入れ農家数	戸	11	13	13	14	
	指標 3	農業ボランティア登録者	人	221	250	265	305	
活動指標	指標 1	利用許可数（多目的ホール・和室・洋室会議室等）	件	699	700	654	700	
	指標 2	市民向け教室・講習会の回数	回	43	50	43	50	
	指標 3	農業従事者向け研修・農業ボランティア養成講座の回数	回	144	150	130	130	
成果指標	指標 1	教室・講習会の延べ参加人数	人	469	500	510	500	
	指標 2	農業従事者向け研修等の延べ数	人	693	1,000	1,024	1,000	
	指標 3	農業ボランティア認証書を授与した者の延べ数	人	221	250	265	305	
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		3271	事務事業名称	農業研修センター運営事業			所属名	農業研修センター
			単位	１９年度	２０年度		２１年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円	269				
		地方債	千円					
		一般財源	千円	6, 615	7, 326	7, 204	7, 033	
		その他	千円					
	主な事業費の内訳			報酬2436千円、報償費145千円、消耗品費129千円、燃料費54千円、光熱水費10711千円、修繕料222千円、通信運搬費3231千円、保険料76千円、委託料19401千円、使用料及び賃借料293千円、備品購入費190千円	報酬2436千円、報償費260千円、消耗品費180千円、燃料費56千円、光熱水費1136千円、修繕費300千円、通信運搬費359千円、保険料109千円、委託料1953千円、使用料賃借料396千円、備品購入費84千円	報酬2436千円、報償費205千円、消耗品費160千円、燃料費63千円、光熱水費1162千円、修繕料299千円、通信運搬費313千円、保険料97千円、委託料1949千円、使用料及び賃借料401千円、備品購入費84千円	報酬2436千円、報償費260千円、消耗品費199千円、燃料費56千円、光熱水費1134千円、修繕料230千円、通信運搬費280千円、保険料76千円、委託料1927千円、使用料及び賃借料400千円	
	人件費(B)			千円	23, 694. 7	22, 864. 6	23, 592	
トータルコスト(A)+(B)			千円	30, 578. 7	30, 190. 6	30, 796	29, 769. 6	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由					
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		都市型農業の展開が多様化する中で、この事業によって都市住民との交流促進や農業技術・農業経営向上等を図ることで農業振興に結び付けられる。					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある							
			☐ 結びつきが弱い・ない							
			☐ 評価対象外事項							
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		多様化・変化するニーズや社会的要求を的確にとらえた研修会等を開催し、今後も農業振興を図っていく。					
			☒ 達成していない							
			☐ 評価対象外事項							
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		この事業は、八千代市農業の政策的な役割を担っている。					
			☒ 可能性はない							
			☐ 評価対象外事項							
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		「対象」・「意図」の変更は無い。しかし時代の変化に伴い農業のあり方が変化しており、その動向を把握していく。					
			☐ 見直す必要がある							
☐ 評価対象外事項										
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２、３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		・今後も、事務事業の目標等に大きな変更はないため、変わらないものと考えられる。					
			☐ 効率性向上の可能性はある							
			☐ 両方可能性がある							
			☒ 可能性がない							
		⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等						
				☐ 臨時的任用職員等の活用						
				☐ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し						
				☐ 受益者負担の見直し						
				☐ 類似事業との統合・役割見直し						
				☐ 上記以外の方法						
		⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある						
	☐ ない									

コード	3271	事務事業名称	農業研修センター運営事業				所属名	農業研修センター
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			農業経営の多様化が進む中で、当農業研修センターにおいては時代のニーズに合った研修会等を開催していく。また、都市型農業の身近な生産地として理解を深めてもらうために、消費者と生産者の交流事業等も推進していく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止（事業完了含む）								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			今後も、事務事業の目標等に大きな変更はないため、変わらないものと考えられる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
低 下	☐		☐	☐				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
・施設設置目的以外の利用が増えており、将来の農業振興につながる運営を検討すべき。 ・多様な各種研修会の開催。 ・農家と都市住民との交流事業の促進。									

所属長コメント	・八千代市の農業の担い手育成，農業経営者及び各種団体への協力の指導，また農業労働力の一翼を担ってもらうための農業ボランティア養成講座を通じて，都市住民への農業に対する理解を深めるよう各種事業を推進する。 ・妥当な評価である。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止（事業完了含む）									
☐ 休止									
☒ 現状のまま継続									